

平成24年度

～城山ワンデイ・チャレンジ～

報告

第1回『自然観察&ネイチャーゲーム』

日時：10月27日（土）午後1:30～

NEWS

秋の深まりと共に紅葉の色づきが増す城山公園で、六路谷在住の森林インストラクターである鋸谷茂（おがやしげる）さんを迎え、城山を散策しながら自然の魅力や自然の持つ力について学びました。

■城山を散策しながら落ち葉をひとり10種類以上集めてみよう！

どんな山でも30種類程度の植物が生育しているそうです。参加者は落ち葉拾いのため地面とにらめっこ。

みんなで30種類以上の落ち葉を見つけることができたのでしょうか？

散策しながら鋸谷さんから城山の自然の魅力や、自然の持つ力など私たちが気付かなかったことを沢山聞かせてもらいました。

■城山には魅力的な自然がいっぱい！

■散策しながら落ち葉探し



自然の中に人が人工的に木を植えると植物の種類は少なくなるんだって！
高浜町内でも昔のままの自然が多く残っている城山は貴重な場所なんだ！
これからは城山の自然を大切に守っていくことが必要なんだね。



よく観察すると、海に面している所は山側と違う木が生育していたわよ！
海沿いには潮風に強いクロマツやトベラなどの植物が成育していて、城山の自然を守っているそうよ！



城山って実際に歩いてみると、いろんな景色が楽しめるんだね！
海沿いの散策路は潮風や波音を感じられて気持ちよかったし、昔お城があった
林の中にはいろんな種類の植物がいっぱい！ドングリも沢山落ちていたよ！



■植栽間隔の狭い桜



大きな木は幹径（幹の直径）の200倍の面積がないと健全に生育できないんだよ。
人が人工的に植栽する時は、植栽間隔を考えて植えないと生きるために必要な栄養が足りなくて大きく成長できなくなるんだ！



■破損している階段



コンクリートの階段が割れていたけどなぜかしら？
時間がたって古くなったからなのかしら？



長い時間をかけて木が成長することで、山が少しずつ動いているからなんだよ。
木が苦しくなって階段を動かしたんだ！
コンクリートの階段は人は歩きやすいけど、自然にとってはやさしくないんだよ。



■城山城址周辺の植生観察



■城山展望広場周辺の植生観察



■海岸沿い植物の観察



■海岸沿いの散策



■集めた落ち葉を観察してみよう！

集めた落ち葉を種類別にシートの上に並べていきました。みんなで葉の形を見ながら分類していきます。30種類以上の落ち葉を見つけることができたのでしょうか？

1. 2. 3・・・なんと31種類の葉っぱが集まりました。鋸谷さんの言っていた通り城山にも30種類以上の植物が生育していました。多分、まだまだあるんじゃないかな！

城山は、昔のままの自然が多く残る貴重な場所だと実感することができました。

■集めた落ち葉を分類



■集めた落ち葉を分類



■31種類の落ち葉



■31種類の落ち葉



■誰でも楽しめるネイチャーゲーム（その1：ミクロハイク）

虫眼鏡を使って足元に広がるミクロの世界を体験しました。空き地や原っぱは多くの生き物がすむ場所です。しかし、彼らは小さな体で草むらの下を動いているので私たちの目につきません。

でも、私たちの視点が変われば、この生き物達に会うことができるのです。普段何気なく見ている自然が少し見方を変えることによって、まったく別の世界が見えてきます。

■ミクロハイクの楽しみ方を指導



■木の周りを観察



■木の周りを観察



■木の幹を観察



■誰でも楽しめるネイチャーゲーム（その2：フィールドビンゴ）

9つのマス目のシートに自然に触れるような課題を書いたビンゴカードを使って個人やグループで活動します。

五感を使い自然の様々な色や音を見て感じる活動することで、自然に興味・関心を持つとともに、自然からの発見や感動を得ることをねらいとしています。

また、グループで活動することにより、仲間との協力や仲間づくりにも効果のある活動です。

今回の体験ワークショップ自然観察&ネイチャーゲームは、子供から大人まで誰でも楽しめ、身近にある自然を“見て”“触れて”“感じる”ことができる内容となっております。

来年も開催する予定ですので、是非ご参加ください。

■ビンゴカード



■フィールドビンゴ活動イメージ



■次回の城山体験WSは・・・

12月には城山荘でベンチづくり体験を予定しています。古くなった公園のベンチをみんなで新しくつくり直し、思い出に残る公園ベンチにしましょう！

近日中に案内チラシの配布を予定しています。多くの方のご参加お待ちしております。